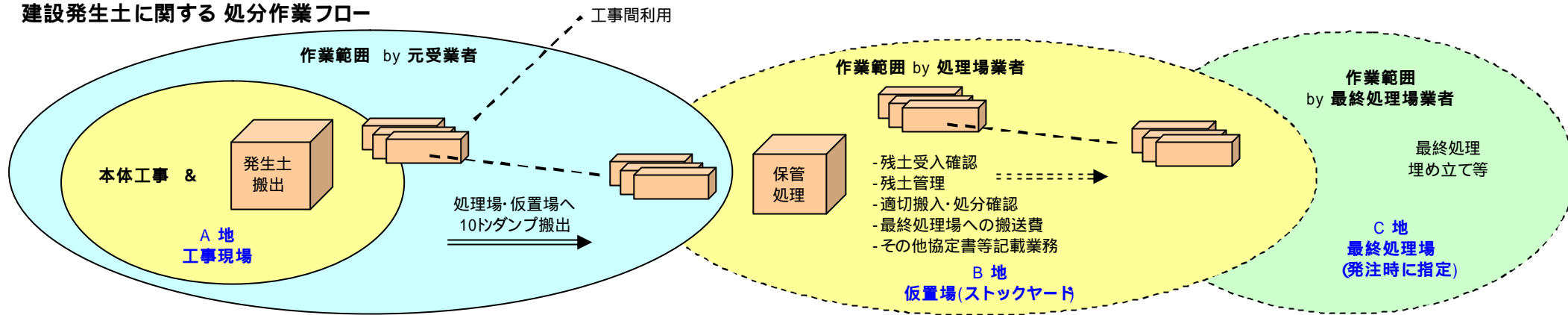
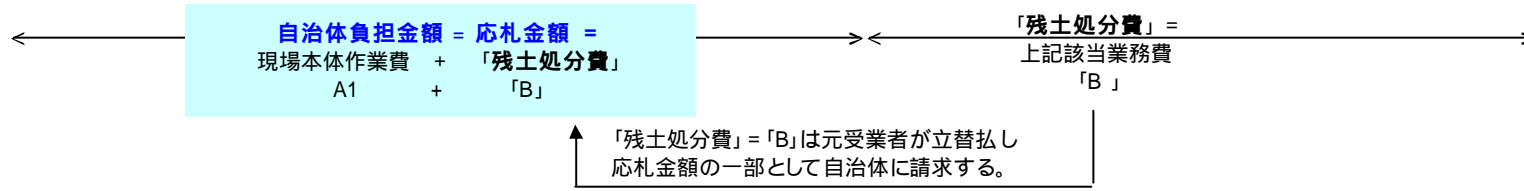


< 1 > 建設発生土に関する 処分作業フロー



< 2 > 応札金額の内訳と負担

積載容量 = AA 小 <<<< 大 x 1.3 積載容量 = BB
Why ???



作業区分	費用区分	¥
A地での工事	元受業者	A1 ¥
B地での処分手続等	B地業者	B ¥
入札金額	元受業者	A1+A2+ B ¥

元受業者立替払
自治体支払金額 (含 :元受業者立替払分)

現状：設計積算において「B」:残土処分費(¥) = 「V0 :地山容量(m3)」 * 「S0 :処分費単価(¥/m3)」と算定している。 B = V0 * S0
設計時に算定された処分費「B」は「残土券(一枚/ダンプ一台)」として発券され元受業者は残土券費用を立替えて清算される。
= 「容量m3(地山) / 「ダンプ1台積載量m3(地山)」

課題点：残土運搬効率(積載容量)の最適化を図ること・・・必須条件:法的規制(過積載)遵守の原則

- = >>> 運搬・処理経費の最適化
- = >>> 輩出ガス(CO2, Nox, etc)の最少化
- = >>> 騒音, 混雑の最適化
- = >>> 他環境配慮